

西海国立公園指定60周年を契機に

「九十九島」の魅力をさらに発信！

佐世保市民が天賦の自然として守り、誇りにしている「九十九島」。この九十九島を含む西海国立公園が昭和30年3月16日に、日本で18番目の国立公園に指定されてから、本年度60周年となりました。

本市ではこの指定60周年を契機として、九十九島の自然を守りながら、より多くの観光客に訪れていただくべく、さまざまな取り組みを進めていきたいと思っております。

本年4月には、九十九島の自然に配慮し、遊覧船としては日本初となる電気推進船「みらい」が就航します。みらいは、昨年末、市民の皆さんに惜しまれながら引退した海賊船「海王」の



後継船です。外観は海賊の帽子をイメージして造られており、とてもスマートな印象です。長年、親しまれてきた海王と同様に人気船になってほしいと思っております。

また今春からは、新しい観光バスを使った「市内周遊観光」を実施します。バスには世界的なカーデザイナーの石井明氏(九州大学芸術工学研究院教授)に、佐世保をテーマにしたオリジナルのデザインを施していただきました。内装外装ともにとっても個性的なバスで、ツアーの内容も、ガイドが同行し佐世保の良さをより体感できる魅力的なものを企画中です。「海風の国」佐世保・小値賀観光圏の取り組みの一つとしてブランド化のブラッシュアップにつなげ、集客増を図りたいと思っております。



このほかにも、九十九島の知名度アップを図るため、フェイスペインクなどSNSに影響力がある著名人とタイアップする企画なども実施する予定です。

また、「させぼ観光3らしいGO！作戦」など市民の皆さんにご協力をいただきながら実施する事業も引き続き推進していきたいと思っております。

市民の皆さん、自然と観光の大きな財産である九十九島を、西海国立公園指定60周年を機に、全国に大きく発信していただくではありませんか。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

聞いて徳する話 募集中

あなたの「聞いて徳する話」募集します！

皆さんの身の周りで見付けたり、感じたりした「聞いたら心が温まる話」を募集します。日常のほんの小さなうれしい出来事や、ぜひ皆さんに聞いてほしい「徳育」に関するお話など、あなたの「聞いて徳する話」をお聞かせください。採用された方は広報させぼ6月号から随時掲載する予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

郵送先・お尋ねなど

〒857-0054 栄町4-11 サンクル1番館 佐世保市教育会内

佐世保徳育推進会議事務局 ☎23-2856(ファクスも同じ)

Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

※掲載に当たっては審査の上、決定させていただきますので、あらかじめご了承ください。

応募方法

応募用紙に必要事項と400字以内の話を書いて、佐世保徳育推進会議に郵送かFAXでお送りください。応募用紙は佐世保徳育推進会議事務局や社会教育課で配付するほか、市ホームページからダウンロードすることもできます。

させぼ市政だより キラっ都させぼ

全国区のおいしさを皆さんへ！ 佐世保の農産品

ミカンやイチゴ、和牛など、本市が全国に誇るおいしい地元農産品。生産の様子や農業支援の取り組みについて朝長市長がお知らせします。

放送予定日	放送時間(放送局)
2月 7日(土)	9:25(NBC) 11:40(KTN)
2月 8日(日)	6:30(NIB)
2月14日(土)	10:55(NCC)
2月21日(土)	9:25(NBC) 11:40(KTN)
2月22日(日)	6:30(NIB)
2月28日(土)	10:55(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)

2月のプレゼント



吉井地域のイチゴを3人に！
昔からイチゴが盛んに栽培されている吉井地域。糖度が高く酸味があり、さっぱりした味が評判の「長崎ゆめのか」4パックをプレゼントします。
※応募方法は番組内でお知らせします。

☎秘書課 ☎24-1111



1月放送の収録の様子。市HPで視聴できます。

人の動き

1月1日 現在

- 総人口 254,521人(-287人)
男性 119,528人(-133人)、女性 134,993人(-154人)
- 世帯数 105,820世帯(-103世帯)

※12月中の動き

転入 397人、転出 593人、出生 183人、死亡 274人

させぼ市政だより

- テレビ
NBC 土曜9時25分~30分、KTN 土曜11時40分~45分
NCC 土曜10時55分~11時、NIB 日曜6時30分~35分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分~30分、FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせぼ 火曜10時30分~35分・日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

徳育通信 35

当たり前のことを当たり前にする大人に

私たち佐世保青年会議所は、これまでも長きにわたり青少年の健全育成に取り組んできました。近年は少子化や核家族化の進行により、子どもを取り巻く環境が大きく変化してきています。人間関係の希薄化が問題視される中で、親や地域に住む周りの大人たちが子どもたちを温かく見守り、導き、積極的に子どもたちに関わっていくことが必要不可欠だと考えています。

本年度は青少年の健全育成についての事業も当然行いますが、青少年だけでなく、親も巻き込んで心の教育を主眼とした事業を行っていきたく思います。こういった運動を発信し継続していくことが、佐世保市で推進され

ている「徳育」につながっていくと確信しています。

「徳育」の第一歩はあいさつから始まります。「おはようございます」や「こんにちは」というあいさつだけでなく、「ありがとうございます」や「ごめんなさい」などをはっきりと言えるようになら

ないといけません。子どもたちには、「当たり前のことを当たり前にする大人に成長して欲しい」と思います。

一般社団法人佐世保青年会議所
第61代理事長 山下 忠則



※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！